

### 特集

SPECIAL ISSUE

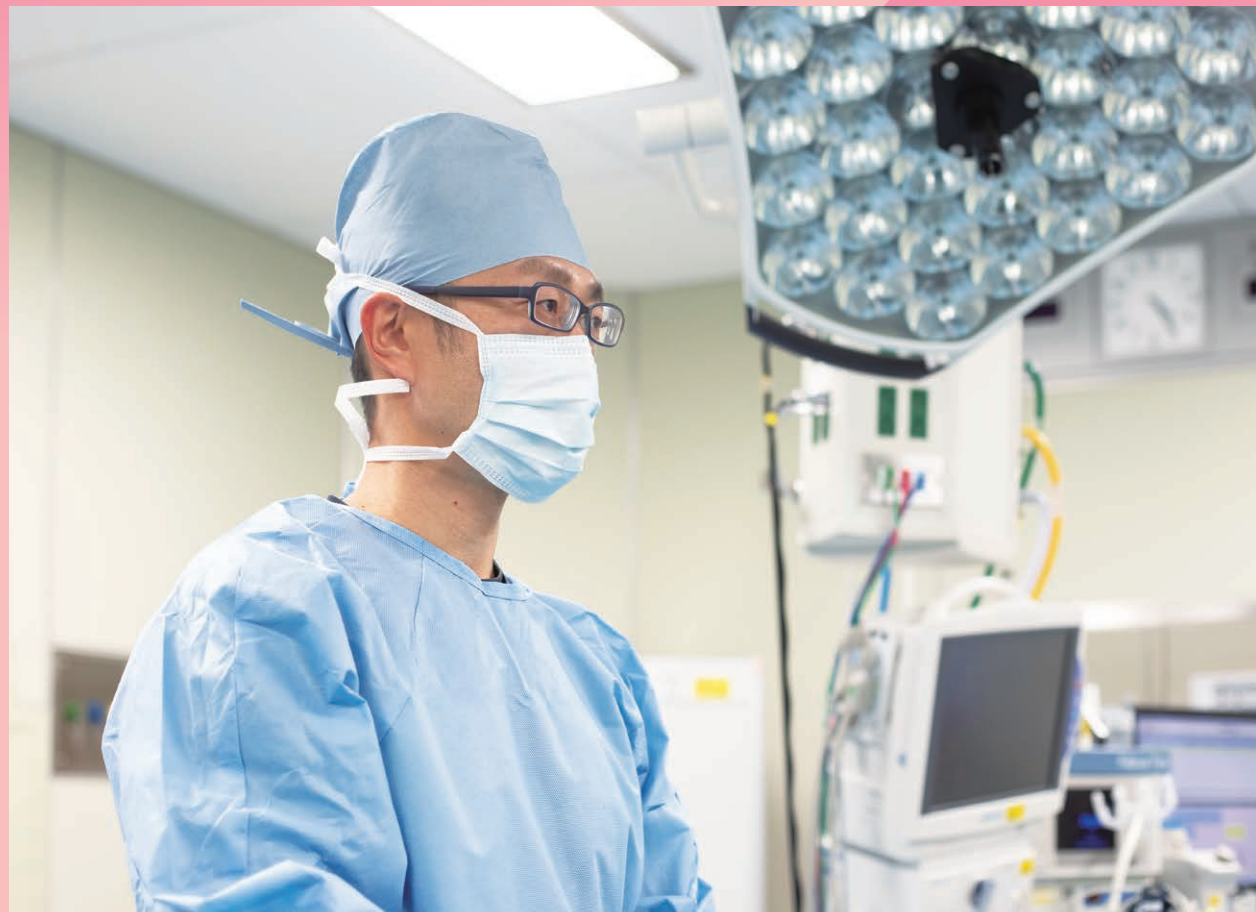
## 脊椎内視鏡手術について

#### CONTENTS [目次]

・脊椎内視鏡手術について

#### INFORMATION [インフォメーション]

・防災訓練 ・健康講座



## INFORMATION

### 防災訓練を実施しました



院内にて防災訓練が実施されました。火災発生時の迅速な対応のため、発見から通報、避難までの訓練を行いました。また、区役所振興課にご協力いただき、地震体験車を使った揺れを体験。震度6弱と震度7の揺れを体験し、あまりの凄さに衝撃を受けました。日頃からの備えと防災意識の向上が大切だと実感した訓練でした。

### 健康講座を実施しました



去る3月16日(土)アクトシティ浜松コンgresセンターにて、すずかけグループ健康講座が開催されました。コロナ禍には中止をしておりましたが、今年14回目の講座開催を迎えることができ、沢山の皆様にご参加いただきました。「腰痛疾患に伴う痛みの治療」としてそれぞれの専門分野から、中山潤志医師・鈴木興太医師にご講演いただきました。今後も皆様の健康維持のお役に立つ講座を開催してまいります。

### お知らせ

ゴールデンウィーク中の診療については下記をご覧ください。

5/3(金) 祝

休日当番医

詳細は新聞等でご確認ください

GW期間の  
休診日

4/27(土) 5/4(土)

4/28(日) 5/5(日)

4/29(月) 5/6(月)

### バス停のご案内

当院へバスでお越しの方は、最寄りの「すずかけセントラル病院」または「田尻橋北」のバス停からが便利です。病院へは、歩行者用の出入り口をご利用ください。



### バス時刻表

#### 「小沢渡」方面行き

1 すずかけセントラル病院 ⇒ 柏原西		2 田尻橋北 ⇒ 柏原西	
月～金	土・日祝	月～金	土・日祝
6時	[49]	6時	[49] [58]
7時	[27]	7時	[27] [42] [42]
8時	[23]	8時	[21] [21] [21]
9時	[07]*	9時	[05] [05] [03]*
10時	[07]*	10時	[05] [05] [04]*
11時	[07]*	11時	[05] [05] [04]*
12時	[07]*	12時	[05] [05] [04]*
13時	[07]*	13時	[05] [05] [04]*
14時		14時	[05] [05] [04]*
15時		15時	[05] [05] [04]*
16時		16時	[05] [05] [44] [05] [52]
17時		17時	[21] [51] [52]
18時		18時	[31] [31] [51]

#### 「浜松駅」方面行き

1 すずかけセントラル病院 ⇒ 浜松駅		2 田尻橋北 ⇒ 浜松駅	
月～金	土・日祝	月～金	土・日祝
6時		6時	[09] [55] [26]
7時		7時	[25] [10] [07] [38]
8時		8時	[10] [28] [19] [57]
9時		9時	[04] [52] [52]
10時	[45]	10時	[47] [45]
11時	[45]	11時	[47] [45]
12時	[45]	12時	[47] [45]
13時	[45]	13時	[47] [45]
14時	[45]	14時	[47] [45]
15時	[45]	15時	[47] [45]
16時		16時	[26] [56]
17時		17時	[02] [34]
18時		18時	[35] [34]

す:すずかけセントラル病院経由 水:浜松市総合水泳場行  
[ ]内は超低床ノンステップ「オムニバス」運行予定(車両整備等により「オムニバス」で運行できない場合があります。)

### 編集後記

春爛漫となりました。新入学・新社会人・新年度と新しい始まりの季節でワクワクしたい所ですが、当事者じゃないとなかなかそういう気持ちになりませんね。自分の好きなことを見つけて、心機一転何かを始めるのもいいかもしれません。新年度、良いスタートがきれますように。



はじめに

二〇二三年二月よりすずかけセントラル病院整形外科兼脊椎センターに赴任いたしました中山潤志と申します。



当院では患者さんへの負担が少なく有効な治療を提供することをモットーとして内視鏡・顕微鏡・経皮的脊椎内視鏡を駆使した脊椎外科専門のセンターを二〇二二年四月から立ち上げております。対象疾患はせぼね(脊椎・脊髄)の病気をすべてが対象となります。腰背部痛、頸部痛、上下肢脱力、歩行障害、手足の痛み、しびれ感などの症状について診療を行い、椎間板ヘルニア、脊柱狭窄症、腰椎すべり症、変形性脊椎症、靱帯骨化症、脊椎脊髄腫瘍等と診断された場合、症状に最も適した治療を行います。

様々な治療法のある中、今回の特集では当院で行う『脊椎内視鏡手術』について御紹介いたします。

脊椎内視鏡手術とは

内視鏡による椎間板切除術は一九九七年にFoley氏により報告され、日本では一九九八年九月に内視鏡下手術が導入され現在に至っています。我が国では、二〇〇四年に発足した日本整形外

科学会認定脊椎内視鏡下手術・技術認定制度により独自の発展を遂げてきました。

手術手技は腰椎椎間板ヘルニアの摘出から始まり、腰部脊柱管狭窄症、腰椎変性すべり症、頸椎症性脊髄症といった頸椎疾患にまでその適応を広げ、除圧術のほぼ全ては内視鏡下で可能となっております。脊椎内視鏡下手術の手術件数は二〇一〇年に全国の約四〇〇施設で二万件を超え、以後毎年増加しています。

術後の疼痛は従来の手術に比べて格段に少なく、早期よりリハビリテーションを開始することができ、在院期間の短縮がもたらされます。患者さんや医療経済への貢献が高い術式であり、低侵襲手術のひとつといえます。

腰椎椎間板ヘルニア

腰椎椎間板ヘルニアは主に椎間板の変性髄核が線維輪を穿破し、椎間板組織が脊柱管内に脱出、もしくは突出して神経の直接圧迫により腰痛や下肢痛

などの神経症状が出現したものです。腰椎椎間板ヘルニアの有病率は一%前後であると考えられています。腰椎椎間板ヘルニアで手術にいたる頻度は、重症度によって、約二〜五割程度と幅があり、症状や脱出形態により異なります。

現在では、あらゆるタイプの椎間板ヘルニアに対して内視鏡下手術が試みられており、サイズが大きい脱出ヘルニアや再発ヘルニアであっても良好な治療成績が得られると報告されております。ただし、不安定性が認められる場合には限界があります。

腰部脊柱管狭窄症

腰部脊柱管狭窄とは、硬膜管神経根の圧迫因子が主に黄色靱帯の肥厚、椎間関節の張り出し、変性変化を呈する腰椎の変性疾患であり、腰部下部痛、しびれ感などの症状を伴う病態のことです。

内視鏡下手術の適応は従来の手術適応と同様、保存療法が無効な腰部脊

柱管狭窄症例であり、脊柱の安定化(固定術)を必要としない場合です。椎間板性腰痛を伴う例や脊柱変形に伴う脊柱バランス不良例、椎間不安定性に伴う症状を有する変性すべり症例などは適応外です。こういった症例に対して、最近では内視鏡下固定術(ME-LIF:micro endoscopic lumbar interbody fusion)という新しい手術手技も試みられています。

最後に

患者さんによって病態は様々であり、手術するかどうかはその方の年齢や活動性、既往などを含めた全身状態によって検討していく必要があります。詳しい診断をご希望される方、気になる症状があるがどうすればよいか迷っている方等いらっしゃいましたら、ぜひ当院に直接来院されるか、ホームページなどで御確認下さい。

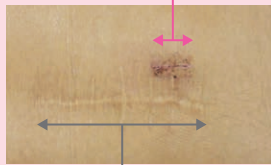


内視鏡下椎間板摘出術(MED)による手術の利点



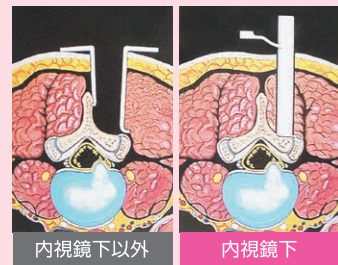
内視鏡下手術の手術器具

内視鏡下手術 18mm



従来法手術(Love法)

創が小さい



内視鏡下以外

内視鏡下

筋肉損傷が少なく、術後腰部愁訴が少ない

TOPICS



2024 Suzukake Central Hospital

春の到来と共に、新しいスタッフが勢ぞろい。みなさま、どうぞよろしくお祈りいたします！

筆者

すずかけセントラル病院  
脊椎センター 医師

中山 潤志